

子育て 地域で子育てする 温かいまちにしたい

市内に約300ある子育てサロンは、子育て中の親が他の親子と交流したり、子育て経験者に悩みを相談できたりする心強い場所。そこには、ボランティアとして子育てを支える人たちがいます。

まちを支える人たち

子育てサロン「カンガルーポッケ」

地域に住む子育てボランティア10人で構成。里塚・美しが丘地区センターで毎週木曜日に子育てサロンを開催し、おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせ、人形劇などを行っている。



知ってる？

まちに広がる子育ての輪

市内で子育てボランティアとして登録している方は約1,000人。子育てを終えた方から、学生、定年退職をした男性まで、幅広い年代の方が札幌の子育てを支えています。

主な活動内容

- ・子育てサロンでの親子とのふれあい
- ・子育て講座での子どもの見守り
- ・子ども向けの催しの事前準備や当日スタッフ
- ・絵本の読み聞かせや遊具作り など

子育てボランティアに興味のある方は 区健康・子ども課へ

年齢、資格を問わず、どなたでも参加できます。講習会やボランティア同士の交流会も開催しています。詳しくは、お問い合わせください。

申し込み・問い合わせ 区役所(1ページ)の健康・子ども課(東区は☎711-3211)

私が初めての育児で不安を感じていたときに、地域の子育てサロンに参加しました。ボランティアさんやお母さんたちと話をすることで気持ち が楽になったんです。そんな経験から、私も何かお手伝いできればと、子育てサロンでボランティアを始めました。 サロンでは、子どもたちと遊んだり、抱っこしながら読み聞かせをしたり。自分の子のように接しています。ハ

イハイしていた子が、いつの間にか歩いているのを見ると、我が子の成長のようによく感じますよ。お母さんたちや他のボランティアの方と、子育ての楽しさや悩みを話すうちに、交流が深まって、友達も増えていきます。 地域で子どもを支える雰囲気が高まれば、子育て中の親の負担も減ると思います。たくさんの方に、子育てボランティアに参加してほしいですね。

育児の経験を生かして 親子を支えたい

カンガルーポッケの子育てボランティア
池田 健美さん



みんなの力でもっと暮らしやすいまちに

市民の皆さんの悩みや、地域が抱える課題はさまざま、行政がその全てを解決することはできません。そうした行政が解決できない部分を補い、支えているのは、市民の皆さんの思いと行動なのです。一人一人の力が集まれば、さらに暮らしやすいまちになっていきます。まずはできることから始めてみませんか。

寄付でまちづくり活動を応援！ さぼーとほっと基金

皆さんからの寄付を、町内会やNPOなどに助成し、活動を支援する仕組み。「福祉」「子どものために」など、使い道を選ぶこともできます。



一定額以上の寄付で基金にご希望の名前を付けることもできます

問い合わせ 市民活動促進担当 ☎211-2964